

【様式2】

学校関係者評価書

佐賀県立ろう学校

1 学校関係者評価実施状況

(1) 学校関係者評価実施日 令和5年2月24日(金)

(2) 資料(評価の参考とした資料)

ア 令和4年度学校評価計画

イ 職員、保護者、児童生徒 学校評価に係るアンケート項目一覧

ウ 〃 結果一覧

エ 令和4年度学校評価結果

(3) 評価者氏名 学校評議員

〃

〃

P T A 会長

2 評価

①目標の妥当性及び達成状況

各目標等については特に問題点はなく妥当であると評価をいただいた。また、来年度以降の数値目標の設定値について、助言をいただいた。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

各評価項目に沿った形で実施した職員、保護者、児童生徒のアンケート結果を提示し、年間の実績や成果と比較しながら自己評価に至った経緯を説明し、妥当性についても理解をいただいた。

またアンケート結果と学校評価結果の関連について質問があり、アンケート結果は学校評価を補完するものであり、母数が少ないことや経年比較がしにくいなど、すべてが関連付けられているものではないと説明し、理解をいただいた。

③改善方策の適切さ

職員、保護者、児童生徒の第1回アンケート結果を学校評価委員会で検討し、後期に改善できる案件は、対応したことを説明し、理解をいただいた。また、学部会や校務分掌部会を通して職員間の共通理解を深化させ、教育活動を実践していく取り組みを説明し、理解をいただいた。

3 その他学校に対する意見や提言

今後のろう学校や聴覚障害教育の発展のために、以下のような助言や提言をいただいた。

- ・限られた人員の中で、幼小中高と幅広い発達段階の教育を実践されている貴校の取組に敬意を表します。今後も地道な活動を継続、蓄積していただき、佐賀県全体の特別支援教育のさらなる充実発展が進んでいくことを祈念しています。
- ・先生方が子供たちに真剣に向き合い、より適した指導を行っている様子が伝わりました。センター的機能を果たす存在として、聴覚障害の高い専門性によって地域の学校を支えて欲しいと思います。

- ・ろう学校と医療機関や福祉・行政が、これまで以上に協力できるような体制作りが必要である。
また、聴覚障害児だけでなく重複障害児が就学する選択肢になり得るための専門性を身に付け行く必要がある。